

京成本線荒川橋梁架替事業

工事だより 第8号

2026年冬



■ 事業の概要

堤防のかさ上げを目的として、京成本線荒川橋梁の架け替えを行います。

高度経済成長期の地下水の過剰汲み上げにより広域的な地盤沈下が生じ、それにより低くなってしまった堤防はかさ上げされましたが、京成本線荒川橋梁との交差部は橋梁が支障となり堤防のかさ上げが出来ないため、周辺の堤防に比べて低い状態となっています。

そのため、新しい橋に架け替え、現在の橋を撤去した後には堤防のかさ上げを行うことで、治水安全度の向上を図ります。



■ 工事概要

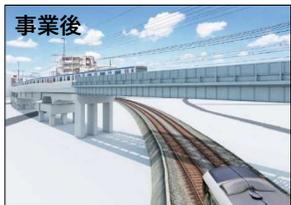
【令和7年度の各工区の主な工事内容】

1工区	(工事箇所) 足立区千住関屋町～足立区柳原一丁目 (工事内容) P4橋脚構築、R2高架橋構築 他
2工区	(工事箇所) 荒川河川区域内 (右岸) (工事内容) P5・P6-1橋脚変状対策及び鋼管矢板基礎 他
3工区	(工事箇所) 荒川 (左岸) 及び綾瀬川河川区域内 (工事内容) P6-3・P6-4橋脚鋼管矢板基礎、C橋脚変状対策 他
4工区	(工事箇所) 葛飾区堀切四丁目 (工事内容) 土留擁壁構築、アプローチ部架設 他



事業の詳細はこちらから

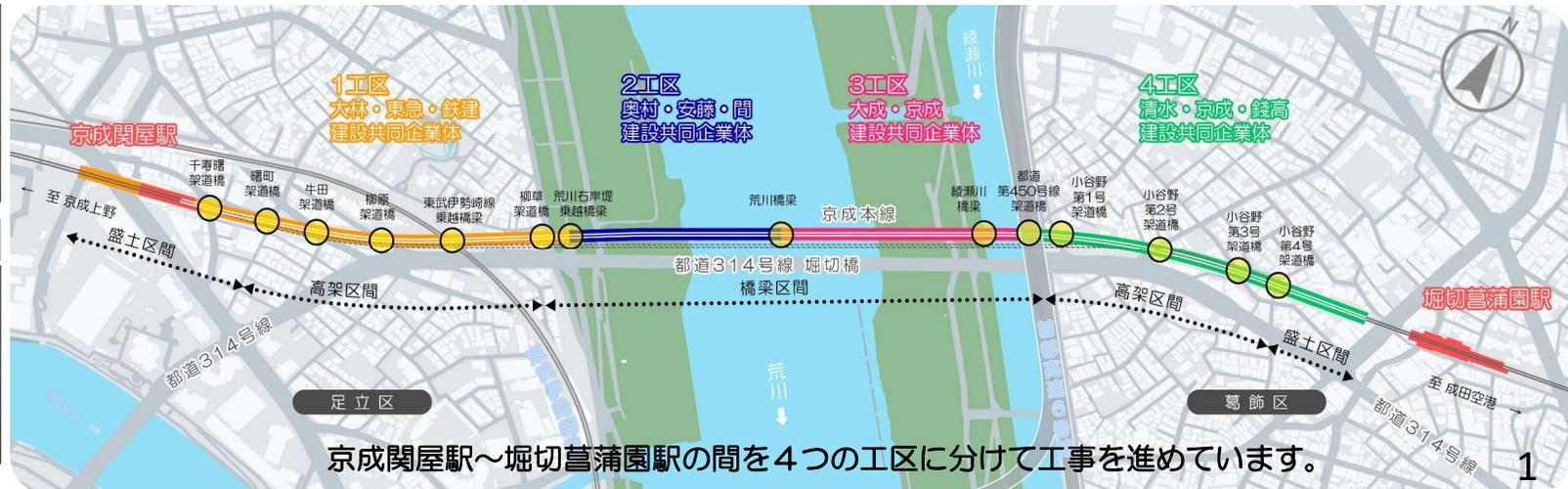
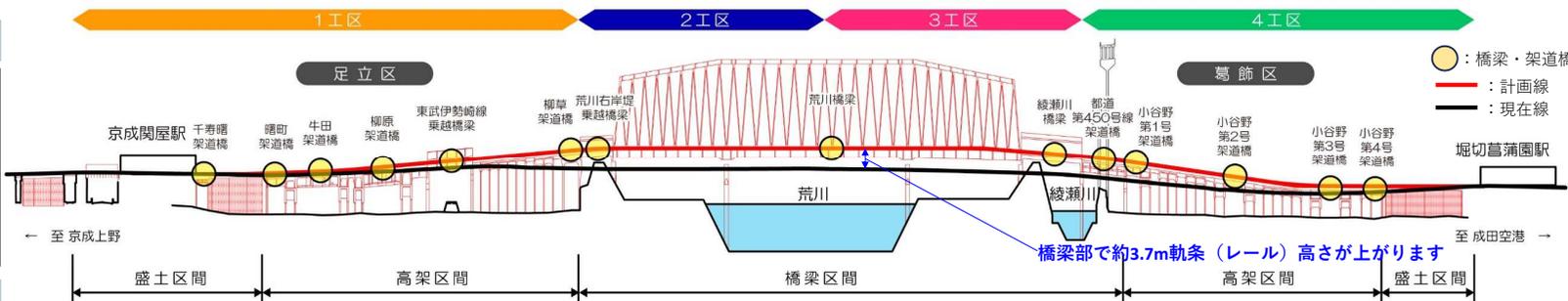
足立区側 京成関屋駅～荒川右岸堤防アプローチ区間



河川部 荒川右岸堤防～綾瀬川橋梁



葛飾区側 綾瀬川橋梁～堀切菖蒲園駅アプローチ区間



京成関屋駅～堀切菖蒲園駅の間を4つの工区に分けて工事を進めています。

●工事内容（足立区側アプローチ部） 新しいR2高架橋の梁部施工を行いました。



📷 -1

梁部にコンクリートを打ち込むため型枠を組み立てました。



📷 -2

梁部にコンクリートを打ち込むため特殊車両を使用しました。



📷 -3

コンクリートミキサー車によりコンクリートを搬入している状況です。



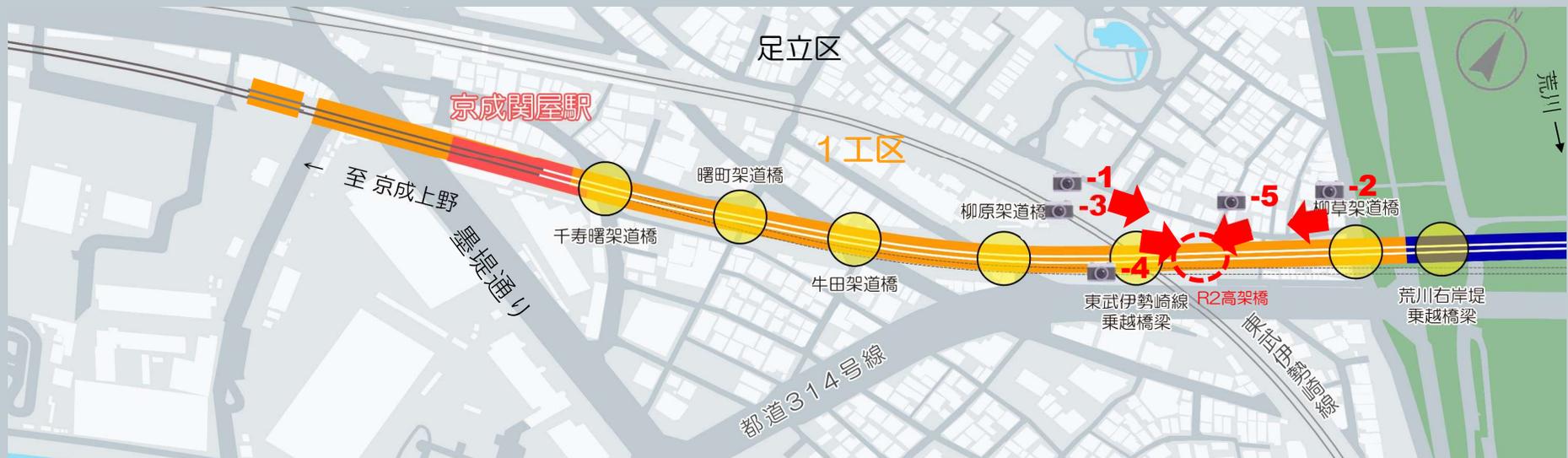
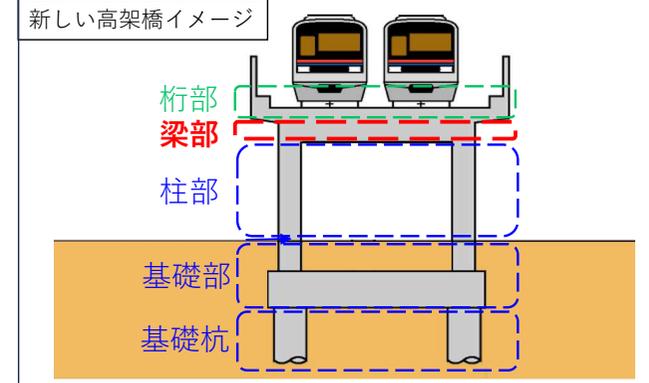
📷 -4

梁部のコンクリートを打ち込んでいる状況です。



📷 -5

梁部のコンクリートの打ち込みが完了しました。



工事の概要は↑こちらから

●工事内容（河川部：右岸側） 非出水期となり、P5橋脚基礎構築の施工を行いました。



📷 -1

鋼管矢板基礎杭
内部にコンクリート
を打ち込みました。



📷 -2

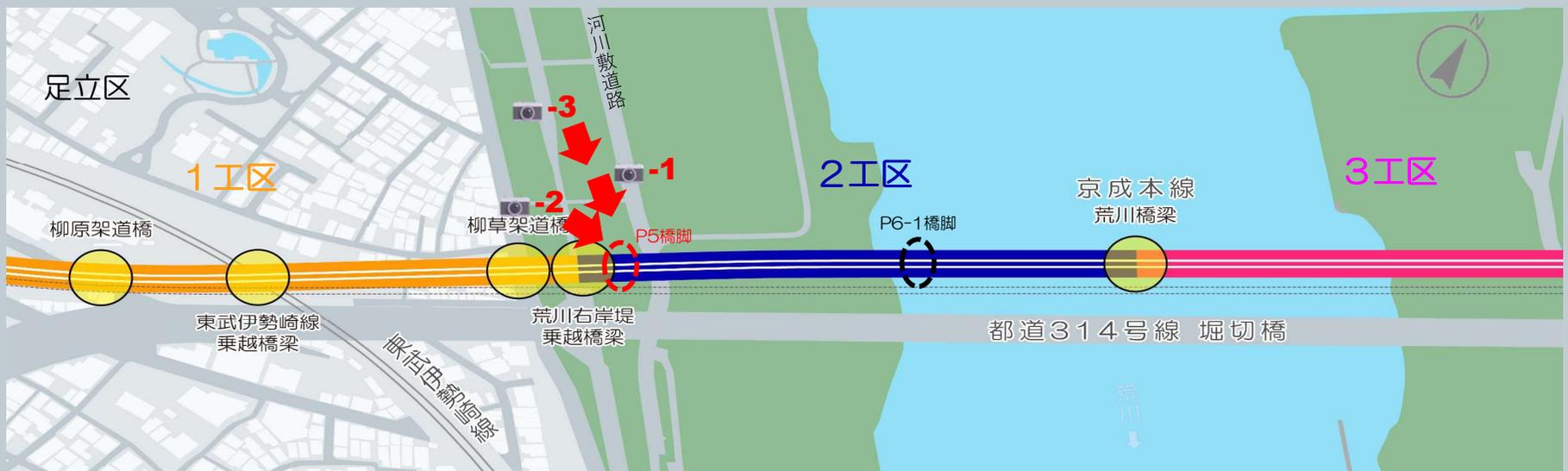
鋼管矢板基礎杭
の固定のため継
手内部にコンク
リートを打ち込
みました。



📷 -3

鋼管矢板基礎杭
作業が完了した
ので周りの導枠
を撤去しました。

※一般的に梅雨や台風の降雨により河川が増水しやすい期間（6～10月）を「出水期」と呼び、それ以外の期間（11月～翌年5月）を「非出水期」と呼んでこの期間に河川工事を実施しています。



工事の概要は↑こちらから

●工事内容（河川部：左岸側） 非出水期となり、P6-2橋脚鋼管矢板打設に向けて仮栈橋を施工しています。



📷-1

3工区（荒川左岸側）作業ヤードの全景です。



📷-2

作業船により仮栈橋の杭を打設しました。



📷-3

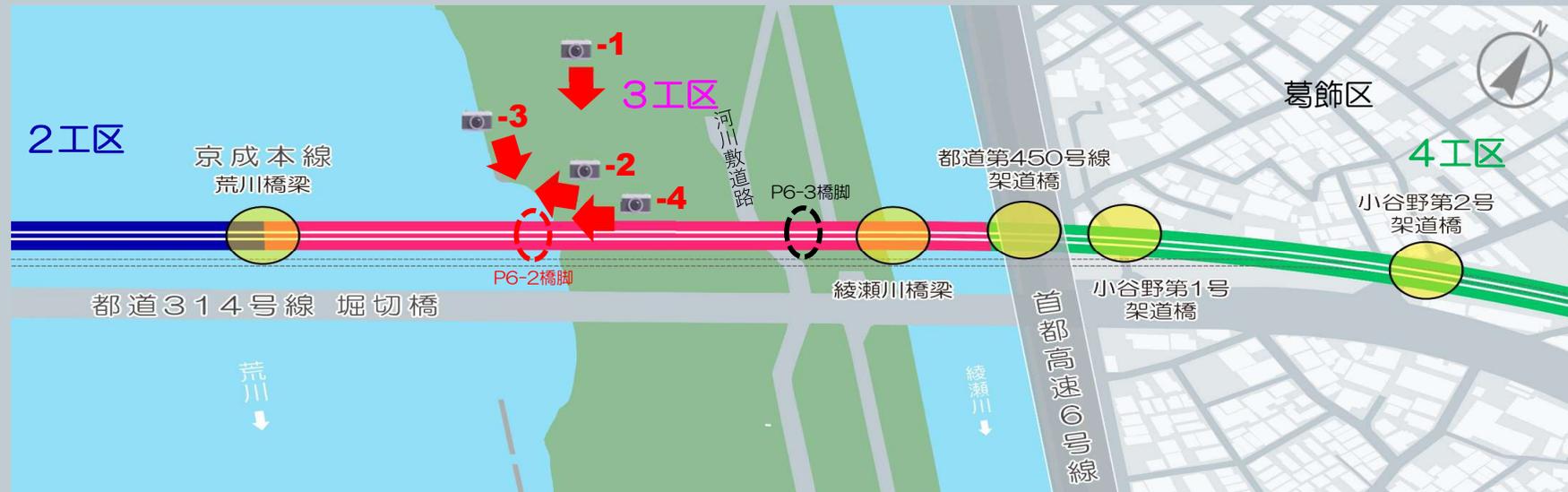
狭い作業場で仮栈橋の杭打設作業を行いました。



📷-4

仮栈橋上部に覆工板を設置しました。

※一般的に梅雨や台風の降雨により河川が増水しやすい期間（6～10月）を「出水期」と呼び、それ以外の期間（11月～翌年5月）を「非出水期」と呼んでこの期間に河川工事を実施しています。



工事の概要は↑こちらから

●工事内容（葛飾区側アプローチ部）

線路脇の盛土を撤去するための準備工事（土留杭の設置等）を行っています。土留杭の設置は軌道内作業のため、終電～初電の間（深夜）に行っています。



📷-1

仮上り線用の盛土が完成し、粉塵飛散防止のためにシート養生しています。



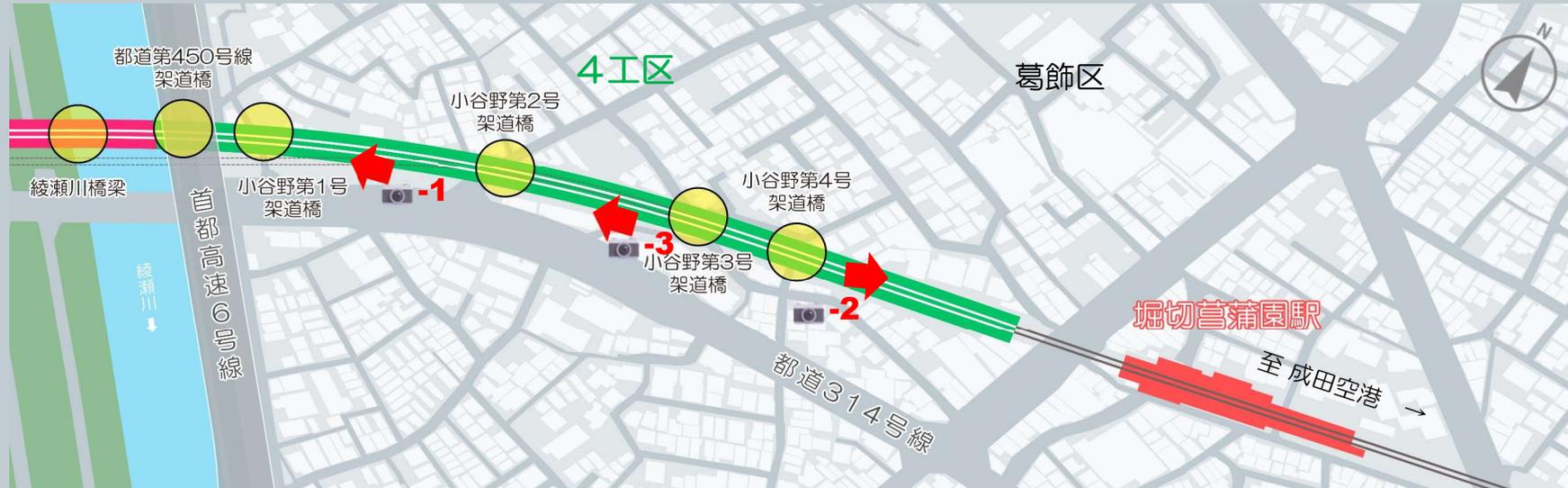
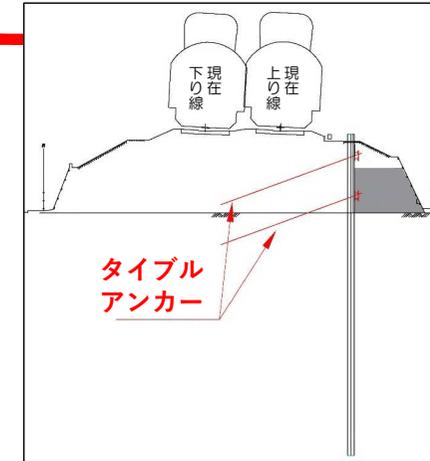
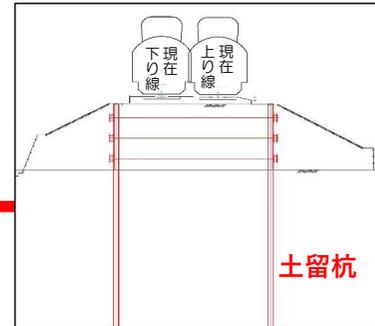
📷-3

夜間、盛土撤去に伴い土留杭をアンカーで補強する作業を行っています。



📷-2

夜間、線路内で土留杭を設置する作業を行っています。



工事の概要はここから